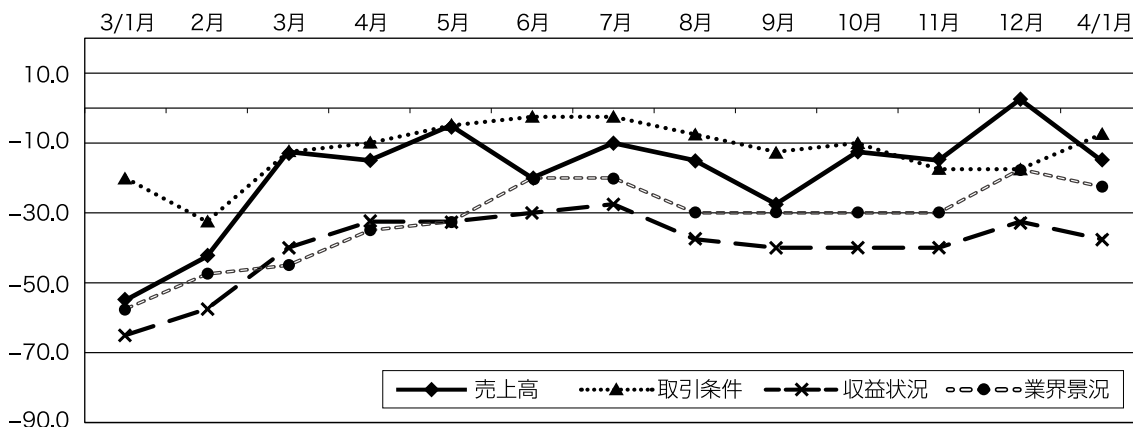


業界の今

情報連絡員報告より
1月の業界の動き

◆ 令和4年1月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	3/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4/1月	増減
売上高	-55.0	-42.5	-12.5	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-27.5	-12.5	-15.0	2.5	-15.0	-17.5
取引条件	-20.0	-32.5	-12.5	-10.0	-5.0	-2.5	-2.5	-7.5	-12.5	-10.0	-17.5	-17.5	-7.5	10.0
収益状況	-65.0	-57.5	-40.0	-32.5	-32.5	-30.0	-27.5	-37.5	-40.0	-40.0	-40.0	-32.5	-37.5	-5.0
業界景況	-57.5	-47.5	-45.0	-35.0	-32.5	-20.0	-20.0	-30.0	-30.0	-30.0	-30.0	-17.5	-22.5	-5.0

概要

令和4年1月の前年同月比DI値は、新型コロナウイルス感染症第6波の影響もあり、「収益状況」が-37.5ポイント、「業界景況」が-22.5ポイントと前月と比較してもほとんどの指標で悪化している。「資金繰り」についても-17.5ポイントで好転する兆しは見え、経営環境はさらに厳しい状況である。

物価の上昇でどのような影響を今後受けるのか心配である(テントシート)

	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	醤油味噌	原材料等がますます高騰している。醤油は値上げの環境となったが、味噌もようやく1社が値上げの発表をしたので、業界の値上げの環境は整っていくものと思われる。新型コロナウイルス感染症が再び勢いを増し、「まん延防止等重点措置」も発出され、再び業務用商品が落ち込むものと思われる。
	繊維工業	テントシート	物価の上昇でどのような影響を今後受けるのか心配である。
	一般機器	伊勢	「モノ不足」になってきて、売上に影響してきている。原因は「半導体不足」と言われる単なるIT機器の製造の遅れや品不足だけでなく、「原油価格の上昇」も「新型コロナウイルス感染症による影響の拡大」も絡み合っていると考えられる。いろいろなものに影響が出てきている。
非製造業	小売業	石油	経済産業大臣は1月25日、ガソリンや灯油といった燃料価格の急騰抑制策を発表した。1月24日時点のレギュラーガソリン1L当たりの全国平均小売価格が170円20銭となり、ガソリン価格が政府による価格抑制策の発動条件を満たした。元売り事業者に対し、小売事業者への卸価格が改定される1月27日以降、170円からの超過20銭に、2月第1週に上昇が見込まれる原油価格3円20銭を加え、ガソリン、軽油、灯油、それぞれ1Lあたり3円40銭を支給することとなった。政府の抑制策は、ガソリンの全国平均小売価格が1L当たり170円以上になった場合、元売り業者らに最大5円分を補助する仕組みである。ただ、この抑制策は補正予算で今年3月までの制度となる。ガソリン価格が170円以上となるのは平成20年9月以来、13年4カ月ぶりとなる。燃料価格が高騰すれば消費が抑えられCO ₂ の排出も少なくなるが、まだまだ国民生活には無くてはならない燃料である。どこまで価格高騰するのか、まことに皮肉な現実である。
	建設業	総合工事業	今年度の第3四半期までの国及び県発注工事のうち県内企業の受注実績の対前年度比は3%の減であった。国発注工事については約15%の減となった。これは、令和2年度補正予算を財源とする工事が3月に発注されたことによるものと考えられる。令和3年度補正予算については、国、県ともに議決を終えており、今年度も年度内の早期発注が期待される。しかしながら、その規模は昨年度の約8割であり、今年度第4四半期及び来年度の公共事業は、厳しい状況になると想定される。
	運輸業	トラック	令和3年12月に一旦下落に転じていた軽油価格が再び上昇し、全国のガソリン平均価格が170円を超えたため、政府による燃料油価格激変緩和対策が講じられ1月末には再び下がることとなった。電子・デバイス関連については令和3年12月に引き続き増加したことに関連する輸送量が増加した。自動車関連については新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の感染拡大により一部メーカーの工場が稼働を中断したことに関連する輸送量も減少した。スーパー小売関連は減少に転じたことから関連する輸送量が減少した。

P9 チャレンジ!! 組合士【解答】

イ	ロ	ハ	ニ	ホ
F	G	D	K	C